

生徒・保護者各位

2022年3月3日
南山高等学校・中学校女子部
校長 ヨセフ・ブルーノ・ダシオン

スラックス等の導入および「制服等に関する規則」の変更について（お知らせ）

平素は、本校の教育活動に格別のご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

女子部では、今年度一学期に生徒会による特別委員会「制服委員会」が発足しました。これまで同委員会が中心となって、全校アンケートや制服モニターなどが実施され、先般、生徒総会を経てスラックス等の導入を求める正式な要望書が学校側に提出されました。一方、教員サイドにおいても生活指導部を中心に制服のあり方について継続的に議論がなされ、女子部創立以来の制服の伝統を継承しつつも、昨今の社会状況や活動の利便性、防寒、防犯等の観点から新たな対応が必要との認識を持つに至っております。

以上のことを踏まえ、早ければ、2022年秋からの導入となりますが、下記のように現行の制服にスラックス等の追加とこれに伴う規則の変更を進めてまいります。

スラックスと新ブラウスについて

創立当初からある制服のデザインと、品位あるイメージをできるだけ保つたあたりで、現行制服の紺色の生地をそのまま採用し、現行の上着に合わせることを想定したスラックスを導入します。ジャンパースカートもスラックスも同じ公式の制服とし、生徒が自らの判断で選択できるようにします。なお、上着を着用しない夏季に対応するため、スラックスに合う新ブラウスを用意します。新ブラウスは、ジャンパースカートを着用する場合でも合わせられるように、開襟のデザインそのままに、外れにくいシャツボタン、透け防止生地、右胸にポケットを採用するなどの改良を加えたものを考えています。2023年度の入学生からは新ブラウスに一本化することとし、在校生は卒業まで新旧どちらでも購入できるようにする方向で考えています。

スラックス着用時のベルト着用は自由とし、着用する場合は、黒・茶・紺の3色のいずれかを基調とする市販のものとする方向で考えています。靴下の規則については、ジャンパースカートでもスラックスでも当面は現行のまま（基本は白、ワンポイント etc.）としますが、実際にスラックスが導入されてから状況を見たうえで改めて考えたいと思います。

カーディガン・ニットベストについて

ジャンパースカートとスラックスのどちらの場合でも、その日の体調や気温などの状況に合わせて自由選択の制服を増やします。具体的には、現行のセーターに加えて、カーディガン・ニットベストを選択できるようにします。これらも女子部の制服の一つとして位置づけ、紺色を基調としたものを導入します。

「制服等に関する規則」の変更について

登下校時および校外では、上着を着用せずにセーター、カーディガン、ニットベスト、ブラウス（スラックス着用時のみ）の装いも可とし、上着を着用しなければならない更衣の時期をなくします。ただし、式典時および学校が指定した日などには必ず上着を着用することとします。

〈新しい制服イメージ〉

基本の制服		
ジャンパースカート (冬生地・夏生地)	ブラウス（長袖・半袖） ・スナップボタン ・薙シャツボタン	上着（式典時など） ただし、夏季は省略可
薙スラックス (冬生地・夏生地)	※2023年度入学生以降はシャツ ボタンに移行	
自由選択の制服		
・オーバーコート	・セーター（中厚手）	・ベレー帽
・薙カーディガン（中厚手）	・薙ニットベスト（薄手）	

新制服のデザイン・仕様の詳細等は、今後、生徒会組織の意見も踏まえつつ決めてまいります。規則の変更を含め、詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

なお、この件に関する問い合わせは、生活指導部長の天野までお願いいたします。

以上